授　業　科　目	リハビリテーション体育		
教　育　内　容	基礎分野	科学的思考の基盤　人間と生活	
担　当　教　員	梅崎　多美		
学　　年	1	単　位　数	1
開　講　時　期	前期・後期	時　間　数	実習 45 時間

■ 授 業 概 要

生涯にわたって運動やスポーツを親しむのに必要な素養と、健康に生きていくために必要な身体能力、知識などを身に付けることをねらいとする。授業では、様々な身体運動とスポーツ種目の経験を通して、「身体を動かす楽しさ」「チャレンジ」「協力」「フェアプレー」「安全」に関する態度を学ぶ。

■ 到 達 目 標

1）パラスポーツおよび生涯スポーツを体験し、そのルールを理解する
2）自ら実施できるストレッチを習得し、生活の中で活用する
3）義肢装具や車椅子等を使用する障害のある方への介助方法を知る

■ 授 業 内 容

第 1 回	オリエンテーション
第 2 回	ストレッチ、車いす操作法、介助法
第 3 回 ｜ 第 23 回	天候、体育館の使用状況、受講者の希望等を考慮し、以下のスポーツを中心に授業を行う。 ・バレーボール　・シッティングバレーボール ・バスケットボール　・車いすバスケットボール ・テニス　・車いすテニス ・ボッチャ　・ゴールボール ・卓球　・サウンドテーブルテニス ・チュックボール　・バドミントン ・アルティメット　・グラウンドゴルフ ・スポーツチャンバラ　・シャッフルボード ・ドッジボール　・ドッジビー ・体力評価(新体力テスト)　など

■ 評 価 方 法

本科目の評価は「平常点」により行う。平常点は、積極的な授業への参加態度を評価対象とする。
平常点１００％

■ 教 科 書

特になし

■ 留 意 事 項

ストレッチは準備運動として毎時間実施する。
＜担当教員の実務経験＞
本学院リハビリテーション体育学科の専任教員として勤務。